

2文字の不等式証明【特徴を捉える】

$a \geq b > 0$ とする。自然数 n に対して、次の不等式を証明せよ。

$$a^n - b^n \leq \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$$

< '82 名古屋大 >

【戦略1】

独立2変数の扱いの最有力候補は「1つを変数、他を定数」と見る
予選決勝法

です。

どちらを変数と見るかですが、 a を固定し、 $0 < b \leq (\text{定数})$ という限られた範囲で考えたいので、 b を変数と見ることにします。

詳しい計算は省略しますが、

$$f(b) = \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1}) - (a^n - b^n)$$

と設定すると

$$f'(b) = \frac{n}{2} \{ -(n-2)b^{n-1} + a(n-1)b^{n-2} - a^{n-1} \}$$

となります。

もう一発微分すると a^{n-1} の部分が消えることを見越し、 $f''(b)$ を計算すると

$$f''(b) = \frac{n}{2}(n-1)(n-2)b^{n-3} \{-b+a\}$$

となります。

$n \geq 3$ であれば、 $f''(b) \geq 0$ ということになり、 $f'(b)$ が単調増加ですから

$0 < b \leq a$ において、 $f'(b) \leq f'(a) = 0$

これより、 $f(b)$ は単調減少で、 $0 < b \leq a$ において、 $f(b) \geq f(a) = 0$

となり、 $f(b) \geq 0$ が言えて解決します。

$n = 1, 2$ のときについては最初に個別検証で潰せば OK です。

【解1】

$\frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1}) - (a^n - b^n)$ を a を固定して、 b の関数と見て

$$\begin{aligned} f(b) &= \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1}) - (a^n - b^n) \\ &= \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1}) + b^n - a^n \quad (0 < b \leq a) \end{aligned}$$

とおく。

[1] $n = 1$ のとき、 $f(b) = \frac{1}{2}(a-b)(1+1) + b - a = 0$

[2] $n = 2$ のとき、 $f(b) = \frac{2}{2}(a-b)(a+b) + b^2 - a^2 = 0$

[3] $n \geq 3$ のとき

$$\begin{aligned} f'(b) &= \frac{n}{2} \{ (-1)(a^{n-1} + b^{n-1}) + (a-b)(n-1)b^{n-2} \} + nb^{n-1} \\ &= \frac{n}{2} \{ -a^{n-1} - b^{n-1} + a(n-1)b^{n-2} - (n-1)b^{n-1} + 2b^{n-1} \} \\ &= \frac{n}{2} \{ -(n-2)b^{n-1} + a(n-1)b^{n-2} - a^{n-1} \} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} f''(b) &= \frac{n}{2} \{ -(n-2)(n-1)b^{n-2} + a(n-1)(n-2)b^{n-3} \} \\ &= \frac{n}{2}(n-1)(n-2) \{ -b^{n-2} + ab^{n-3} \} \\ &= \frac{n}{2}(n-1)(n-2)b^{n-3} \{-b+a\} \\ &\geq 0 \end{aligned}$$

ゆえに、 $0 < b \leq a$ の範囲で $f'(b)$ は単調増加。

$$\begin{aligned} f'(a) &= \frac{n}{2} \{ -(n-2)a^{n-1} + a(n-1)a^{n-2} - a^{n-1} \} \\ &= \frac{n}{2} \{ (2-n)a^{n-1} + (n-1)a^{n-1} - a^{n-1} \} \\ &= 0 \end{aligned}$$

これより、 $0 < b \leq a$ の範囲で、 $f'(b) \leq f'(a) = 0$

ゆえに、 $0 < b \leq a$ の範囲で、 $f(b)$ は単調減少。

$$\begin{aligned} f(a) &= \frac{n}{2}(a-a)(a^{n-1} + a^{n-1}) + a^n - a^n \\ &= 0 \end{aligned}$$

よって、 $0 < b \leq a$ の範囲で、 $f(b) \geq f(a) = 0$

以上 [1], [2], [3] より、 $0 < b \leq a$ 、及び自然数 n に対して $f(b) \geq 0$ 、すなわち

$$a^n - b^n \leq \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$$

が成立する。

【戦略 2】

示すべき不等式の両辺の各項の次数が全て n 次という「同次式」ということを見落とさなければ、1 変数の処理で捌けます。

【解 2】

示すべき不等式 $a^n - b^n \leq \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$ の両辺を $b^n (>0)$ で割ると

$$\frac{a^n - b^n}{b^n} \leq \frac{n}{2} \cdot \frac{a-b}{b} \cdot \frac{a^{n-1} + b^{n-1}}{b^{n-1}}$$

すなわち、 $\left(\frac{a}{b}\right)^n - 1 \leq \frac{n}{2} \left(\frac{a}{b} - 1\right) \left\{ \left(\frac{a}{b}\right)^{n-1} + 1 \right\}$

$\frac{a}{b} = t$ とおくと、 $0 < b \leq a$ のとき $t \geq 1$ であり

$$t^n - 1 \leq \frac{n}{2}(t-1)(t^{n-1} + 1)$$

右辺を展開すると、 $t^n - 1 \leq \frac{n}{2}(t^n - t^{n-1} + t - 1)$

よって、 $t \geq 1$ に対して

$$\left(\frac{n}{2} - 1\right)t^n - \frac{n}{2}t^{n-1} + \frac{n}{2}t - \frac{n}{2} + 1 \geq 0 \dots (*)$$

が成り立つことを示せばよい。

$$f(t) = \left(\frac{n}{2} - 1\right)t^n - \frac{n}{2}t^{n-1} + \frac{n}{2}t - \frac{n}{2} + 1 \quad (t \geq 1) \text{ とおく。}$$

[1] $n=1$ のとき $f(t) = -\frac{1}{2}t^1 - \frac{1}{2}t^0 + \frac{1}{2}t - \frac{1}{2} + 1 = 0$

[2] $n=2$ のとき $f(t) = 0 - t^1 + t - 1 + 1 = 0$

[3] $n \geq 3$ のとき

$$\begin{aligned} f'(t) &= \left(\frac{n}{2} - 1\right) \cdot n t^{n-1} - \frac{n}{2}(n-1)t^{n-2} + \frac{n}{2} \\ &= \frac{n}{2} \{ (n-2)t^{n-1} - (n-1)t^{n-2} + 1 \} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} f''(t) &= \frac{n}{2} \{ (n-2)(n-1)t^{n-2} - (n-1)(n-2)t^{n-3} \} \\ &= \frac{n(n-1)(n-2)}{2} t^{n-3}(t-1) \\ &\geq 0 \quad (\because n \geq 3, t \geq 1) \end{aligned}$$

ゆえに、 $t \geq 1$ において、 $f'(t)$ は単調増加であり

$$f'(t) \geq f'(1) = 0$$

これより、 $t \geq 1$ において $f(t)$ は単調増加であり

$$f(t) \geq f(1) = 0$$

以上、[1], [2], [3] より 自然数 n 、および $t \geq 1$ を満たす t に対して、 $f(t) \geq 0$ 、すなわち (*) が成り立つ。

これより、題意は示された。

【戦略 3】

示すべき不等式の右辺から

台形の面積

をインスピレーションすると、視覚化できます。

【解 3】

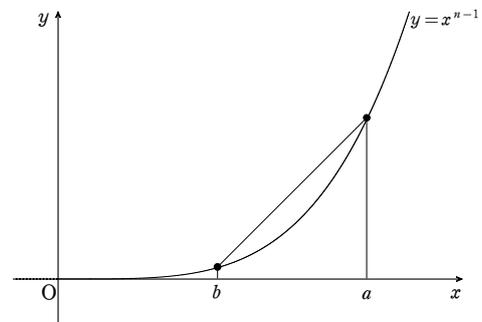
[1] $n=1$ のとき $\begin{cases} \text{(左辺)} = a-b \\ \text{(右辺)} = \frac{1}{2}(a-b)(a^0 + b^0) = a-b \end{cases}$

[2] $n=2$ のとき $\begin{cases} \text{(左辺)} = a^2 - b^2 \\ \text{(右辺)} = \frac{2}{2}(a-b)(a+b) = a^2 - b^2 \end{cases}$

[3] $n \geq 3$ のとき

$$y = x^{n-1} \quad (x > 0) \text{ に対して、} y' = (n-1)x^{n-2}, y'' = (n-1)(n-2)x^{n-3}$$

$x > 0, n \geq 3$ のとき、 $y'' > 0$ であるから、 $x > 0$ において $y = x^{n-1}$ は下に凸である。



ゆえに、面積に注目すると、

$$\int_b^a x^{n-1} dx \leq \frac{1}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$$

$$\left[\frac{1}{n}x^n\right]_b^a \leq \frac{1}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$$

$$\frac{a^n - b^n}{n} \leq \frac{1}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$$

$$\text{よって、} a^n - b^n \leq \frac{n}{2}(a-b)(a^{n-1} + b^{n-1})$$

以上、[1], [2], [3] より、題意は示された。

【総括】

独立 2 変数の扱いを重要視しようと思えば【解 1】

同次式が目につけば【解 2】

作画的な形から視覚化を疑い、台形の面積を疑えば【解 3】

というように、何が目につくかによって様々な解法が考えられます。